



## 人間ロータリークラブ

## Weekly Report



2013-2014 R I 会長：ロン D. バートン

- R I 第 2570 地区ガバナー：中井 眞一郎
- 会長：友野 政彦 幹事：西山 祐三
- 例会日：木曜日 12：30～13：30
- 例会場：丸広百貨店入間店 6 F パンケット・ホール  
Tel. 04-2963-1111

- 会報委員長：関谷 永久
- 当番：晝間 和弘
- 事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101 号  
Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788  
Email : iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第 31 号 2800 回例会 2014 年 2 月 13 日 (木)

## &lt;ビジター・ゲスト&gt;

## 飯能ロータリークラブ

沢辺 滯彦 様



私はロータリークラブに 41 歳の時に入り 20 年間に在籍していました。このたび、飯能市長を退きましてから、ロータリーの方々から温かいお声を掛けていただき、再入会いたしました。どうか宜しくお願いいたします。

## 米山記念奨学生 スペーバートル・ジャウフランド

## ●●●会長の時間

友野政彦会長

先週末は、体験したことのないレベルの大雪に見舞われ、大変な思いをしました。私の事業所は介護保険施設でそれなりに面積がありますので、とても人力では対応できず業者を頼み重機によって施設の敷地内と駐車場の除雪を一日がかりで行いました。今日は新井会員による環境問題をテーマとした卓話を予定しています。最近トーンダウンしてしまった「地球温暖化」と言う問題がありますが、もしこれが全く逆の「地球寒冷化」が起これば温暖化とは比べ物にならない位、深刻になります。食糧難は確実です。現生人類が誕生して以来、二酸化炭素の量とは無関係に、今より暖かかった時代も寒かった時代もありました。

話は変わり、先日我々が親しんできた「鮭茶漬け」の表示についての報道がありました。サーモンの握り寿司等とともに実際に利用されているのはニジマスだそうです。ニジマスも溪流釣りの対象になりますが、ヤマメやアマゴといった溪流の魚には一生を河川で過ごすもの(陸封型)と海に下るもの(降海型)があります。降海型はそれぞれサクラマス・サツキマスと言う明称になり、非常に大型化(例えばヤマメは 30 センチに対してサクラマスは 70 センチ)します。実は淡水魚であるニジマスも通常は 40 センチ程度ですが海水で育て

ると 1 メートルに達します。この性質を利用したニジマスの海面養殖が大きな事業になっているとの事です。ではなぜ海水で育てると大型化するのでしょうか。海水魚には鰓に「塩類細胞」という、海水から塩分だけを体外に捨てる仕組みがあります。淡水から海水に移されたニジマスはこの塩類細胞をフル稼働させる必要が生じ、その為に成長ホルモンの分泌が盛んになるとの事です。

さて、ロータリーに話題を移します。現在回覧していますが黄其光(ゲイリー・ホァン)RI 次期会長のメッセージが届いております。2008-09 年の李東建氏(韓国)、2012-13 年の田中作次氏に続くここ数年で 3 人目の東アジア出身の RI 会長となります。孔子の教えがロータリーに通じるとは如何にも我々と同じ東アジアの漢字文化圏(台湾)の方であるなと思いました。ご一読下さい。

## ●幹事報告

西山祐三幹事

1. 今月の 20, 27 日の例会会場はさくら草ホールとなります。よろしく願いいたします。

## ●加藤国夫エレクト



2 月 6 日にエレクト担当の 4 委員会合同家庭集会を実施いたしました。出席者は友野会長・西山幹事・粕谷クラブ奉仕・滝沢 S A A・職業分類・細淵会員・ロータリー情報・宮寺会員・吉永会員と加藤の 8 名の出席でした。

議題は友野年度、上半期を終えて、残る半期に向けての情報と意見交換、と題して開催しました。

職業分類の細淵会員からは、分類表の確認と未充填分類の見直しにより会員増強に反映できるような方策を講じる。ロータリー情報委員会、宮寺・吉永会員からは新入会員及び入会 1~2 年の会員を中心とした。オリエンテーション。(ロータリーの楽しさを感じ取れる)を早急に考える。

参加者全員の了承の元、ロータリー談議で終始和やかな雰囲気に入れながら、効果的な家庭集会を終了することができました。参加会員の皆様には感謝申し上げます。

次に2月8日にR財団セミナー及び補助金管理セミナーに私と次年度財団委員長、後藤賢治会員で出席してまいりました。次年度のR財団プログラムに参加するにはこの補助金セミナーに出席が必須とのことで、大雪の中10時から17時という工程でしたが16時前に終了となりました。セミナーの内容ですが、提出事業に対して補助金を頂くには厳しい制約がありますが、完全にクリアし補助金を受けられるようただ今準備を致しております。申請準備が整い次第、会員皆様にご承認いただけるよう作成中です。

追伸、原田義之様の卓話がありました。私が話の内容をお話しするよりも原田先生の出版された一冊を買ってまいりましたので、興味のある方は是非お読みいただきたいと思っております。

<出席報告> 木下登出席委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
40名	32名	80.0%	73.6%

事前欠席連絡 1名

<ニコニコBOX> 滝沢文夫SAA

友野政彦君、平岡達也君、吉永章子君、豊田義継君～沢辺様ようこそ入間クラブへ。

本日¥4,000 累計¥658,000

■回覧、配布物

- ①学友会ニュース2月号
- ②ゲイリー・ホァンRI次期会長のメッセージ
- ③RI2570地区派遣学生2月次報告書
- ④2014～2015年度版RC手帳申込書
- ⑤12/19クリスマス会・会計報告
- ⑥1/30新年会・会計報告
- ⑦他クラブ週報
- ⑧週報30号

■■■ 会 員 卓 話 ■■■

「入間市環境まちづくり会議」

新井格会員



本日は、私が副会長を務めさせていただいている「入間市環境まちづくり会議」についてお話をさせていただきます。

同会議は、環境にやさしいまち「入間市」をつくっていくため、平成13年7月14日に設立され、環境に配慮した身近な取り組みを通じて入間市環境基本計画を具体的に進めることを目的に、市民、事業者、民間団体、そして市が協働して活動を行っています。活動の中心となるのは①環境情報の提供や学習と②環境学習の推進で、様々な啓発イベントも開催しています。

部会として、「みんなのごみ部会」と「地球温暖化防止部会」があり、ごみの減量とクリーンエネルギーについての学習や講演会、見学会などを行ってきました。また、「ごみひろい隊」は、お揃いのピンクのユニフォームに身を包んで毎月第2日曜日にごみひろいを行っています。コースは豊岡コース(市役所→入間市駅→まるひろ→市役所)と藤沢コース(グリーンガーデン→国道463号線→藤沢交差点→熊野神社北交差点→武蔵藤沢駅西口→グリーンガーデン)の二つで、挨拶運動を兼ねながら地域の美化に努めています。



まちづくり会議が関わっているイベントには、①環境フェア②環境ウォーク③生涯学習フェスティバル④大森の池まつり等があります。



環境フェアでは、環境団体や企業の活動内容の展示、講演会やシンポジウム、クイズや体験コーナーなど、身近な自然環境、生活環境についての関心を高めてもらえるような盛り沢山の催しを行っています。また、環境ウォークや大森の池まつりでは、市内の豊かな環境に親しみ、自然と触れ合う機会を提供しています。こうした活動を通じて、環境にやさしいまち「入間市」を創造し、未来を担う子供たちにバトンを渡していきたいと考えています。

会報委員会 (関谷・平岡・忽滑谷)